

ジンバブエ経済（経済情報の週間とりまとめ：９月第２週目）

- 1 一ヶ月あたりの生活費が５．５％減少
- 2 技術的故障により停電がおきる
- 3 政府、穀物輸入の免税を承認
- 4 スーベ財務・投資促進大臣：ZWL 利用の維持を主張
- 5 CBZ 銀行、農業分野に６，０００万米ドルを投資
- 6 ジンバブエインフラ開発銀行（IDBZ）の事業規模
- 7 ジンバブエ、３兆米ドルのハラール市場への参入を目指す

1 一ヶ月あたりの生活費が５．５％減少

ジンバブエ消費者評議会（CCZ）によると、９月の６人家族世帯の一ヶ月あたりの生活費が、８月の約２６８万 ZWL から５．５％減少し、約２５３万 ZWL となった。米ドル計算では、５４０米ドルから９．２％減少し４９０米ドルとなった。（１０日付、デイリーニュース紙）

報道リンク：<https://dailynews.co.zw/monthly-cost-of-living-down-55pc/>

2 技術的障害により停電が発生

ジンバブエ電力送配電公社（ZETDC）は、最近頻発している停電は、ワング火力発電所における技術的障害が原因であると述べた。１１日時点で、ワング火力発電所は４５０MW、カリバ水力発電所は８００MW を発電しており、計１，２５０MW の発電が確認されている。（１２日付、デイリーニュース紙）

報道リンク：<https://dailynews.co.zw/faults-hit-local-power-supply/>

3 政府、穀物輸入の免税を承認

エル・ニーニョ現象により、今期雨量が減少する予測を受け、政府は、民間企業らが穀物を免税で輸入することを承認した。（１３日付、ヘラルド紙）

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/govt-okays-duty-free-imports-of-grain/>

4 スーベ財務・投資促進大臣：ZWL 使用継続を主張

スーベ財務・投資促進大臣は、経済及び基本消費財の価格安定のために、ZWL および米ドルの二重通貨制度を維持するとし、ZWL への一本化に戻るための必要な措置を導入し準備が整えば米ドルを廃止すると述べた。また、市場における過剰な通貨流通量を防ぐためにも現在の金融引締政策を維持すると述べた。（１３日付、デイリーニュース紙）

5 CBZ 銀行、農業分野に 6, 0 0 0 万米ドルを投資

ニヤゼマ CBZ 銀行会長は、2 0 2 3 年、農業分野に 6, 0 0 0 万米ドルを投資するとし、うち 1, 0 0 0 万米ドルは園芸分野へ投資すると述べた。(1 4 日付、フィナンシャル・ガゼット紙)

報道リンク：<https://fingaz.co.zw/cbz-sets-aside-us60-million-for-agriculture/>

6 ジンバブエインフラ開発銀行 (IDBZ) の事業規模

IDBZ は、2 0 2 3 年上半期は 6, 8 8 0 万米ドル相当分の事業を実施した。(1 4 日付、フィナンシャル・ガゼット紙)

報道リンク：<https://fingaz.co.zw/idbz-commits-us688-million-to-new-projects/>

7 ジンバブエ、マレーシアのハラール市場への参入を目指す

ジンバブエは、ハラール製品・食品の需要が高いマレーシアのハラール市場への参入を目指す。マレーシアでのハラール市場は、2 0 1 8 年は 6 8 4 億米ドルであり、2 0 3 0 年には 1, 1 3 2 億米ドル市場へと拡大すると予測されている。ハラール市場の世界規模は、3 兆米ドルである。(1 5 日付、インディペンデント紙)

報道リンク：<https://www.newsday.co.zw/agriculture/article/200016608/zim-firms-optimistic-about-penetrating-halal-market>